



2019年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年11月9日

上場会社名 (株)アルバック
 コード番号 6728 URL <https://www.ulvac.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 岩下 節生

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員IR室長

(氏名) 梅田 彰

TEL 0467-89-2033

四半期報告書提出予定日 2018年11月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (国内機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2019年6月期第1四半期の連結業績(2018年7月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第1四半期	61,728	1.3	8,671	2.6	8,977	2.1	6,083	4.0
2018年6月期第1四半期	60,943	21.7	8,900	38.6	9,174	49.2	6,333	24.7

(注) 包括利益 2019年6月期第1四半期 2,561百万円 (65.5%) 2018年6月期第1四半期 7,429百万円 (37.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期第1四半期	123.45	
2018年6月期第1四半期	128.53	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年6月期第1四半期	290,446	151,217	49.9
2018年6月期	297,418	154,069	49.6

(参考) 自己資本 2019年6月期第1四半期 144,828百万円 2018年6月期 147,531百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年6月期				95.00	95.00
2019年6月期					
2019年6月期(予想)				105.00	105.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年6月期の連結業績予想(2018年7月1日～2019年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	125,500	0.2	19,500	4.3	20,000	1.7	14,000	14.2	284.13
通期	255,000	2.3	36,500	3.3	37,500	1.6	25,500	29.0	517.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年6月期1Q	49,355,938 株	2018年6月期	49,355,938 株
期末自己株式数	2019年6月期1Q	82,336 株	2018年6月期	82,336 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年6月期1Q	49,273,602 株	2018年6月期1Q	49,272,361 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報)	11
3. 補足情報	12
(1) 販売実績	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	2018年6月期 第1四半期	2019年6月期 第1四半期	前年同期比 (増減率)
受注高	80,957	77,742	△4.0%
売上高	60,943	61,728	1.3%
営業利益	8,900	8,671	△2.6%
経常利益	9,174	8,977	△2.1%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	6,333	6,083	△4.0%

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資が増加し、企業収益が改善するなど、緩やかに回復してきました。米国では、個人消費や設備投資の増加などにより景気の回復が続いてきました。欧州では、消費が増加し、生産や輸出が持ち直すなど、景気は緩やかに回復してきました。中国では、各種政策効果もあり、景気の持ち直しの動きが続いてきました。

当社グループを取り巻くエレクトロニクス市場においては、データセンター向けサーバー需要の増加等によるメモリ需要の拡大を受け、半導体メモリーメーカーの設備投資が継続しました。足元では一部に新規設備投資の延期の動きが出てまいりましたが、中長期的にはスマート化社会の進展に向けた投資が継続するものと見られています。一方、フラットパネルディスプレイ（FPD）業界においては、テレビ用パネルの大型化、高精細化に伴う大型液晶パネル製造向けの設備投資が中国を中心として高水準で継続しました。スマートフォン向け有機ELパネルの設備投資は韓国での投資抑制はあるものの、他地域での設備投資は継続しました。

このような状況において、当第1四半期連結累計期間につきましては、受注高は777億42百万円(前年同期比32億15百万円(4.0%)減)、売上高は617億28百万円(同7億85百万円(1.3%)増)となりました。また、損益につきましては、営業利益は86億71百万円(同2億29百万円(2.6%)減)、経常利益は89億77百万円(同1億97百万円(2.1%)減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、60億83百万円(同2億50百万円(4.0%)減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

「真空機器事業」

(単位：百万円)

	2018年6月期 第1四半期	2019年6月期 第1四半期	前年同期比 (増減率)
受注高	73,454	69,613	△5.2%
売上高	53,731	54,420	1.3%
営業利益	8,383	8,085	△3.6%

真空機器事業を品目別に見ると次のとおりです。

(FPD及びPV製造装置)

FPD製造装置の受注高は、前年度下半期に受注が一時的に低調となりましたが、当四半期においては回復し、中国を中心としたテレビ向け大型液晶製造装置を中心に前年同期に近い受注を計上しました。また、売上高は有機EL製造装置も寄与し堅調に推移し、前年同期並みとなりました。

(半導体及び電子部品製造装置)

半導体関連は、NANDフラッシュメモリやDRAM、次世代不揮発性メモリ向けスパッタリング装置や自然酸化膜除去装置に加え、ロジック向けスパッタリング装置の受注寄与などにより増加、電子部品関連は、モバイル機器向け高機能デバイス製造装置やパワー半導体向け製造装置などが増加し、前年同期を上回る受注高、売上高となりました。

(コンポーネント)

有機EL製造装置に搭載するクライオポンプをはじめ、FPD、半導体、電子部品業界や自動車関連向け真空ポンプ、計測機器が堅調に推移し、受注高、売上高ともに前年同期を上回りました。

(一般産業用装置)

自動車部品製造用真空熱処理炉や漏れ検査装置などを中心に売上高は前年同期を上回りました。一方受注高は中国における高機能磁石製造用投資の延期等もあり低調な結果となりました。

その結果、真空機器事業の受注高は696億13百万円、受注残高は1,091億15百万円、売上高は544億20百万円となり、80億85百万円の営業利益となりました。

「真空応用事業」

(単位：百万円)

	2018年6月期 第1四半期	2019年6月期 第1四半期	前年同期比 (増減率)
受注高	7,502	8,129	8.4%
売上高	7,211	7,308	1.3%
営業利益	521	608	16.6%

真空応用事業を品目別に見ると次のとおりです。

(材料)

主に液晶ディスプレイ用スパッタリングターゲットを中心に前年同期並みの受注、売上を計上しました。

(その他)

表面分析機器関連は、前年度に引き続き低調な売上となりましたが、マスクブランクス関連は、高精細、高機能ディスプレイパネルや車載及び産業用半導体需要の増加を受け、堅調に推移しました。

その結果、真空応用事業の受注高は81億29百万円、受注残高は65億68百万円、売上高は73億8百万円となり、6億8百万円の営業利益となりました。

なお、上記金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

前連結会計年度末に比べ、69億72百万円減少となりました。主な要因は、投資有価証券が65億89百万円減少したこと、受取手形及び売掛金が26億34百万円減少したこと、一方で、たな卸資産が25億9百万円増加したことなどがあります。

(負債)

前連結会計年度末に比べ、41億20百万円減少となりました。主な要因は、未払法人税等が20億74百万円減少したこと、長期借入金が15億31百万円減少したこと、前受金が7億37百万円減少したこと、一方で、支払手形及び買掛金が9億67百万円増加したことなどです。

(純資産)

前連結会計年度末に比べ、28億52百万円減少となりました。主な要因は、その他の包括利益累計額が38億64百万円減少したこと、一方で、利益剰余金が11億60百万円増加したことなどです。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

②キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益、減価償却費、売上債権の減少、仕入債務の増加などのプラス要因に対し、たな卸資産の増加、前受金の減少などのマイナス要因により、107億19百万円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形及び無形固定資産の取得による支出などにより、32億17百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

長期借入金の減少、配当金の支払などにより、71億64百万円の支出となりました。

以上により、当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ、7億75百万円増加し、551億24百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年6月期の業績予想につきましては、前回公表値(2018年8月8日)の見通しを変えておりません。

(注)この決算短信で述べている将来の当社に関する見通しは、現時点で把握しうる情報をもとに作成したものです。当社グループの主要取引先であるFPD、半導体及び電子部品業界は、特に技術革新のスピードが大変速く、かつ、競争の激しい産業です。また、世界経済、為替レートの変動、原材料価格、FPD、半導体及び電子部品の市況、設備投資の動向など、当社グループの業績に直接的、間接的に影響を与える様々な外部要因があります。従いまして、実際の売上高及び利益は、この決算短信に記載している予想数値とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	57,074	57,876
受取手形及び売掛金	87,276	84,642
商品及び製品	4,615	4,408
仕掛品	23,618	25,377
原材料及び貯蔵品	10,847	11,806
その他	9,509	6,911
貸倒引当金	△914	△532
流動資産合計	192,026	190,487
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	31,814	31,450
機械装置及び運搬具 (純額)	16,382	16,664
工具、器具及び備品 (純額)	1,839	1,900
土地	8,624	8,640
リース資産 (純額)	731	786
建設仮勘定	4,907	4,640
有形固定資産合計	64,297	64,080
無形固定資産		
リース資産	81	78
ソフトウェア	844	959
その他	2,529	2,333
無形固定資産合計	3,454	3,370
投資その他の資産		
投資有価証券	25,562	18,973
繰延税金資産	7,315	8,764
その他	6,812	6,820
貸倒引当金	△2,048	△2,048
投資その他の資産合計	37,641	32,508
固定資産合計	105,392	99,959
資産合計	297,418	290,446

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	55,566	56,533
短期借入金	21,539	21,103
リース債務	300	341
未払法人税等	4,534	2,460
前受金	16,739	16,002
賞与引当金	3,185	4,795
役員賞与引当金	512	126
製品保証引当金	1,742	1,621
受注損失引当金	1,074	1,007
その他	13,637	12,403
流動負債合計	118,829	116,392
固定負債		
長期借入金	14,150	12,618
リース債務	607	626
繰延税金負債	22	15
退職給付に係る負債	8,370	8,295
役員退職慰労引当金	272	237
役員株式給付引当金	134	124
資産除去債務	395	396
その他	568	526
固定負債合計	24,520	22,837
負債合計	143,348	139,229
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,873	20,873
資本剰余金	3,912	3,912
利益剰余金	107,238	108,398
自己株式	△266	△266
株主資本合計	131,756	132,917
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,950	10,321
為替換算調整勘定	2,579	3,305
退職給付に係る調整累計額	△1,753	△1,715
その他の包括利益累計額合計	15,775	11,911
非支配株主持分	6,538	6,389
純資産合計	154,069	151,217
負債純資産合計	297,418	290,446

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)
売上高	60,943	61,728
売上原価	42,929	44,017
売上総利益	18,013	17,710
販売費及び一般管理費	9,113	9,039
営業利益	8,900	8,671
営業外収益		
受取利息	28	37
受取配当金	137	193
持分法による投資利益	42	38
その他	303	254
営業外収益合計	510	521
営業外費用		
支払利息	102	77
その他	135	138
営業外費用合計	236	215
経常利益	9,174	8,977
特別損失		
固定資産除却損	31	—
特別損失合計	31	—
税金等調整前四半期純利益	9,142	8,977
法人税、住民税及び事業税	2,033	2,089
法人税等調整額	387	517
法人税等合計	2,420	2,605
四半期純利益	6,723	6,372
非支配株主に帰属する四半期純利益	390	289
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,333	6,083

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	6,723	6,372
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	△4,621
為替換算調整勘定	640	776
退職給付に係る調整額	67	39
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	△5
その他の包括利益合計	706	△3,811
四半期包括利益	7,429	2,561
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,989	2,219
非支配株主に係る四半期包括利益	440	342

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,142	8,977
減価償却費	1,572	1,679
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	50	△382
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,714	1,564
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△14	△33
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△64	△34
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	17	△10
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△415	△136
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△275	△68
受取利息及び受取配当金	△165	△230
支払利息	102	77
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,508	3,175
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,531	△2,160
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,709	551
前受金の増減額 (△は減少)	7,009	△839
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△586	69
その他	1,230	2,578
小計	14,987	14,778
利息及び配当金の受取額	176	257
利息の支払額	△101	△74
法人税等の支払額	△2,711	△4,242
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,351	10,719
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△345	△2,172
定期預金の払戻による収入	73	2,175
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,642	△2,988
関係会社株式の取得による支出	△297	-
その他	70	△232
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,142	△3,217
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	73	△24
長期借入金の返済による支出	△1,764	△2,000
配当金の支払額	△2,384	△4,509
その他	△835	△631
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,911	△7,164
現金及び現金同等物に係る換算差額	234	438
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,533	775
現金及び現金同等物の期首残高	47,555	54,348
現金及び現金同等物の四半期末残高	53,088	55,124

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」の適用)

米国を除く在外連結子会社において、当第1四半期連結会計期間の期首よりIFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」を適用しております。

当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	真空機器事業	真空応用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	53,731	7,211	60,943	—	60,943
セグメント間の内部売上高 又は振替高	621	389	1,010	△1,010	—
計	54,352	7,600	61,952	△1,010	60,943
セグメント利益	8,383	521	8,904	△4	8,900

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	真空機器事業	真空応用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	54,420	7,308	61,728	—	61,728
セグメント間の内部売上高 又は振替高	719	509	1,229	△1,229	—
計	55,139	7,817	62,956	△1,229	61,728
セグメント利益	8,085	608	8,693	△21	8,671

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同期比(%)
真空機器事業	54,420	101.3
真空応用事業	7,308	101.3
合計	61,728	101.3

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 真空機器事業の主な品目別販売実績及び当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

品目	当第1四半期連結累計期間	
	販売高(百万円)	割合(%)
FPD及びPV製造装置	26,365	48.4
半導体及び電子部品製造装置	12,661	23.3
コンポーネント	9,425	17.3
一般産業用装置	5,968	11.0
計	54,420	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 真空応用事業の主な品目別販売実績及び当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

品目	当第1四半期連結累計期間	
	販売高(百万円)	割合(%)
材料	3,802	52.0
その他	3,507	48.0
計	7,308	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。